

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 7 年 4 月 17 日(2025.4.17)

【公開番号】特開 2024-169789(P2024-169789A)  
【公開日】令和 6 年 12 月 6 日(2024.12.6)  
【年通号数】公開公報(特許)2024-229  
【出願番号】特願 2023-86098(P2023-86098)  
【国際特許分類】  
A 6 3 F 7/02(2006.01)  
【F I】  
A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 7 年 4 月 9 日(2025.4.9)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

所定の開始条件の成立に基づいて所定図柄の変動を実行可能な遊技機であって、  
所定の表示を行うことが可能な表示手段と、  
少なくとも前記表示手段を用いて所定の演出を実行する演出実行手段と、  
を備え、  
前記演出実行手段は、  
前記表示手段に当該遊技機の一部を模倣した特殊画像を表示可能な特殊演出と、  
前記特殊演出の実行期間が終了した後に実行することが可能な特別演出と、を実行可能  
であり、  
前記特殊演出及び前記特別演出は、前記所定図柄の変動が実行されていない期間で実行  
可能な演出であり、  
さらに、特定発光を実行可能な特定発光部を備え、  
前記特定発光は、少なくとも前記特殊演出の実行期間中に実行可能な発光であり、  
前記特殊演出の実行期間中に当該遊技機の電源が遮断された場合には、電源が遮断され  
る前に実行されていた前記特殊演出が、電源が再投入された後に再開されず、前記特別演  
出についても実行されないように構成されている一方で、  
前記特殊演出の実行期間中に当該遊技機の電源が遮断された場合には、電源が遮断され  
る前に実行されていた前記特定発光部の前記特定発光が、電源が再投入されることに基づ  
いて再開可能であり、  
さらに、前記特定発光部とは異なる発光部である特別発光部を備え、  
前記特別発光部は、前記特定発光とは異なる特別発光を、少なくとも前記特殊演出の実  
行期間中に実行可能であり、  
前記特別発光部は、前記特殊演出の実行期間が終了することに基づいてそれまで実行し  
ていた前記特別発光を終了し、前記特別演出の実行に併せて前記特別演出に基づいた発光  
を実行するように構成されている一方で、  
前記特定発光部は、前記特殊演出の実行期間が終了することに基づいてそれまで実行し  
ていた前記特定発光を終了することなく、前記特別演出の実行中も前記特定発光を継続可  
能に構成されており、  
前記特殊演出は、前記所定図柄の変動が実行されていない期間が開始すると同時に実行

30

40

50

されうる演出でなく、前記所定図柄の変動が実行されていない期間が開始されてから所定期間経過後に実行されうる演出である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記した目的を達成するために、請求項 1 に係る発明においては、

10

所定の開始条件の成立に基づいて所定図柄の変動を実行可能な遊技機であって、

所定の表示を行うことが可能な表示手段と、

少なくとも前記表示手段を用いて所定の演出を実行する演出実行手段と、

を備え、

前記演出実行手段は、

前記表示手段に当該遊技機の一部を模倣した特殊画像を表示可能な特殊演出と、

前記特殊演出の実行期間が終了した後に実行することが可能な特別演出と、を実行可能であり、

前記特殊演出及び前記特別演出は、前記所定図柄の変動が実行されていない期間で実行可能な演出であり、

20

さらに、特定発光を実行可能な特定発光部を備え、

前記特定発光は、少なくとも前記特殊演出の実行期間中に実行可能な発光であり、

前記特殊演出の実行期間中に当該遊技機の電源が遮断された場合には、電源が遮断される前に実行されていた前記特殊演出が、電源が再投入された後に再開されず、前記特別演出についても実行されないように構成されている一方で、

前記特殊演出の実行期間中に当該遊技機の電源が遮断された場合には、電源が遮断される前に実行されていた前記特定発光部の前記特定発光が、電源が再投入されることに基づいて再開可能であり、

さらに、前記特定発光部とは異なる発光部である特別発光部を備え、

前記特別発光部は、前記特定発光とは異なる特別発光を、少なくとも前記特殊演出の実行期間中に実行可能であり、

30

前記特別発光部は、前記特殊演出の実行期間が終了することに基づいてそれまで実行していた前記特別発光を終了し、前記特別演出の実行に併せて前記特別演出に基づいた発光を実行するように構成されている一方で、

前記特定発光部は、前記特殊演出の実行期間が終了することに基づいてそれまで実行していた前記特定発光を終了することなく、前記特別演出の実行中も前記特定発光を継続可能に構成されており、

前記特殊演出は、前記所定図柄の変動が実行されていない期間が開始すると同時に実行されうる演出でなく、前記所定図柄の変動が実行されていない期間が開始されてから所定期間経過後に実行されうる演出である

40

ことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】